

第3部 介護保険事業の円滑な運営

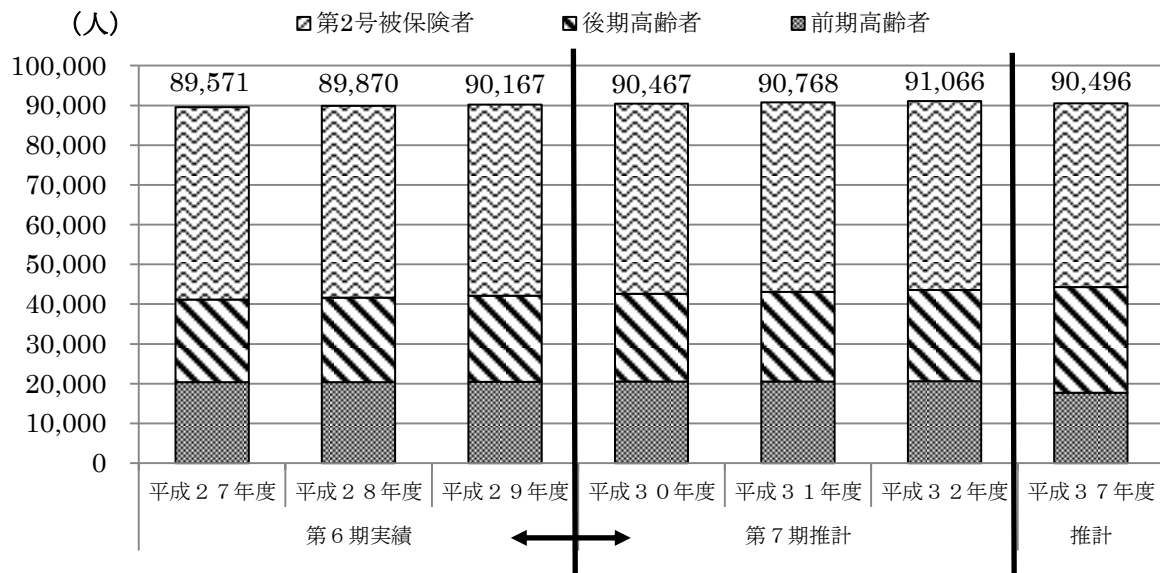
第1章 介護保険事業の見込み

1 被保険者数

米子市の第1号被保険者数は、平成29年度の42,125人から平成32年度（第7期計画期間の最終年度）には、43,596人と3.5%程度の増加を見込みます。

また、平成37年度（2025年）には、44,266人に増加する見込みです。

被保険者数の見込み



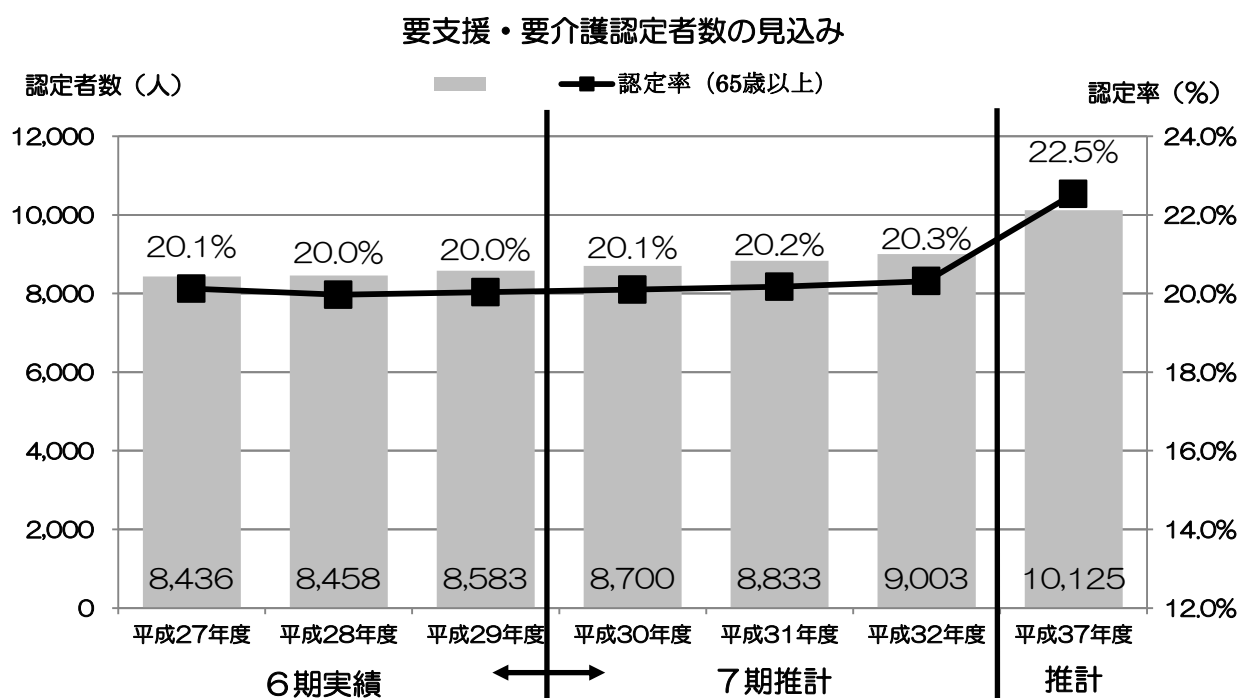
※平成29年度は、平成30年1月現在の推計値

	第6期実績			第7期推計			推計
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成37年度
第1号被保険者	41,149	41,638	42,125	42,617	43,108	43,596	44,266
前期高齢者	20,366	20,417	20,467	20,519	20,570	20,620	17,713
後期高齢者	20,783	21,221	21,658	22,098	22,538	22,976	26,553
第2号被保険者	48,422	48,232	48,042	47,850	47,660	47,470	46,230
総数	89,571	89,870	90,167	90,467	90,768	91,066	90,496

2 要支援・要介護認定者数

高齢者人口の増加に伴い、要支援・要介護認定者数は、平成29年度（推計値）の8,583人から平成32年度には9,003人と3.1%程度増加し、対前年度比で1～2%程度の増加を見込みます。

認定率（対第1号被保険者）は平成29年度の20.0%から、平成32年度には20.3%と微増していきませんが、団塊の世代が後期高齢者となる平成37年度には、22.5%まで上昇すると見込まれます。



※平成29年度は、平成30年1月現在の推計値

	第6期実績			第7期推計			推計
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成37年度
認定者総数	8,436	8,458	8,583	8,700	8,833	9,003	10,125
うち第1号被保険者数	8,281	8,315	8,440	8,565	8,696	8,857	9,975
要支援1	1,137	1,121	1,109	1,096	1,080	1,076	1,181
要支援2	1,366	1,363	1,466	1,573	1,688	1,804	2,137
要介護1	1,392	1,441	1,475	1,508	1,544	1,578	1,775
要介護2	1,342	1,381	1,412	1,442	1,471	1,497	1,623
要介護3	1,043	1,064	1,042	1,020	996	983	1,116
要介護4	1,097	1,035	1,026	1,017	1,005	996	1,134
要介護5	904	910	910	909	912	923	1,009
認定率	20.1%	20.0%	20.0%	20.1%	20.2%	20.3%	22.5%

3 介護保険サービスの利用者数

今後見込まれている要支援・要介護認定者数の増加に伴い、介護保険サービス等の利用者数も全体では、増加傾向で推移すると見込まれます。サービス別では、施設サービスの利用者数は、新たな施設整備の計画がないことから現状のまま推移し、地域密着型サービスと居宅サービスについては、今後も増加が見込まれます。

※平成29年度は、平成30年1月現在

		第6期実績			第7期推計			伸び率① ※1	平成37年度	伸び率① ※2
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
(1) 居宅サービス										
訪問介護	回数(回)	23,420	24,902	26,693	25,050	25,470	25,892	95.4%	28,728	107.6%
訪問介護	人数(人)	911	933	944	950	960	970	101.7%	1,060	112.3%
訪問入浴介護	回数(回)	116	103	102	118	118	118	115.9%	118	115.9%
訪問入浴介護	人数(人)	30	26	25	29	29	29	117.9%	29	117.9%
訪問看護	回数(回)	3,759	3,827	3,983	4,584	5,101	5,631	128.2%	6,618	166.2%
訪問看護	人数(人)	497	548	605	655	720	785	119.0%	905	149.6%
訪問リハビリテーション	回数(回)	2,527	2,691	3,049	3,228	3,564	3,917	117.1%	4,710	154.5%
訪問リハビリテーション	人数(人)	223	240	260	285	312	340	120.2%	405	155.9%
居宅療養管理指導	人数(人)	468	520	546	575	603	626	110.1%	690	126.4%
通所介護	回数(回)	19,591	14,955	14,142	14,582	15,324	16,076	108.4%	17,278	122.2%
通所介護	人数(人)	1,675	1,270	1,193	1,230	1,280	1,330	107.3%	1,415	118.6%
通所リハビリテーション	回数(回)	2,527	2,691	3,049	3,228	3,564	3,917	117.1%	4,710	154.5%
通所リハビリテーション	人数(人)	223	240	260	285	312	340	120.2%	405	155.9%
短期入所生活介護	日数(日)	2,676	2,597	2,497	2,689	2,721	2,752	109.0%	2,784	111.5%
短期入所生活介護	人数(人)	313	303	303	315	315	315	104.1%	315	104.1%
短期入所療養介護(老健)	日数(日)	768	600	410	606	606	615	148.5%	624	152.2%
短期入所療養介護(老健)	人数(人)	111	88	67	90	90	90	134.1%	90	134.1%
短期入所療養介護(病院等)	日数(日)	5	0	0	0	0	0	—	0	—
短期入所療養介護(病院等)	人数(人)	1	0	0	0	0	0	—	0	—
福祉用具貸与	人数(人)	42	42	39	49	49	49	126.1%	49	126.1%
特定福祉用具購入費	人数(人)	42	42	39	49	49	49	126.1%	49	126.1%
住宅改修費	人数(人)	32	31	29	30	30	30	102.3%	30	102.3%
特定施設入居者生活介護	人数(人)	303	325	341	369	374	379	109.7%	384	112.6%
(2) 地域密着型サービス										
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人数(人)	115	131	132	150	150	150	113.7%	200	151.6%
夜間対応型訪問介護	人数(人)	23	23	18	23	23	23	126.3%	23	126.3%
認知症対応型通所介護	回数(回)	1,945	1,987	1,970	2,173	2,233	2,312	113.7%	2,563	130.1%
認知症対応型通所介護	人数(人)	159	171	175	187	192	197	109.4%	216	123.1%
小規模多機能型居宅介護	人数(人)	106	114	152	184	293	293	168.6%	293	192.4%
認知症対応型共同生活介護	人数(人)	281	279	296	316	353	353	115.1%	353	119.3%
地域密着型特定施設入居者生活介護	人数(人)	0	0	0	58	58	58	—	58	—
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	人数(人)	22	21	30	73	102	102	310.4%	102	342.9%
看護小規模多機能型居宅介護	人数(人)	83	83	85	90	90	90	106.0%	90	106.0%
地域密着型通所介護	回数(回)	0	4,643	5,057	5,393	5,719	6,050	113.1%	7,057	139.6%
地域密着型通所介護	人数(人)	0	449	491	520	545	570	110.9%	655	133.3%
(3) 施設サービス										
介護老人福祉施設	人数(人)	557	566	546	549	549	549	100.5%	549	100.5%
介護老人保健施設	人数(人)	719	722	700	700	700	700	100.1%	700	100.1%
介護医療院	人数(人)	0	0	0	0	0	0	—	5	—
介護療養型医療施設	人数(人)	3	3	4	5	5	5	141.4%	0	0.0%
(4) 居宅介護支援										
居宅介護支援	人数(人)	3,119	3,147	3,141	3,250	3,275	3,300	104.3%	3,400	108.3%

※回(日)数は1月当たりの数、人数は1月当たりの利用者数。

※1: 第7期平均値/平成29年度の値*100

※2: 平成37年度の値/平成29年度の値*100

第3部 介護保険事業の円滑な運営

第1章 介護保険事業の見込み

※平成29年度は、平成30年1月現在の推計値

		第6期実績			第7期推計				平成37年度	伸び率① ※2
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	伸び率① ※1		
(1)介護予防サービス										
介護予防訪問介護	人数(人)	480	44	1	0	0	0	0.0%	0	0.0%
介護予防訪問入浴介護	回数(回)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—
介護予防訪問入浴介護	人数(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—
介護予防訪問看護	回数(回)	308.5	402.0	498.8	505.4	567.3	621.3	113.2%	746.6	149.7%
介護予防訪問看護	人数(人)	65.0	79.8	90.0	100.0	111.0	120.0	122.6%	142.0	157.8%
介護予防訪問リハビリテーション	回数(回)	526.3	403.8	468.9	661.6	788.2	917.0	168.2%	1,139.0	242.9%
介護予防訪問リハビリテーション	人数(人)	47.8	39.9	52.0	63.0	74.0	85.0	142.4%	105.0	202.0%
介護予防居宅療養管理指導	人数(人)	37	43	56	65	75	85	134.3%	105	188.0%
介護予防通所介護	人数(人)	823	2	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
介護予防通所リハビリテーション	人数(人)	465	458	454	450	460	470	101.4%	510	112.4%
介護予防短期入所生活介護	日数(日)	59.0	59.3	92.5	81.5	83.0	84.5	89.7%	86.0	93.0%
介護予防短期入所生活介護	人数(人)	13.1	11.2	16.4	15.0	15.0	15.0	91.6%	15.0	91.6%
介護予防短期入所療養介護(老健)	日数(日)	9.3	8.9	24.3	18.8	18.8	19.2	78.1%	19.6	80.8%
介護予防短期入所療養介護(老健)	人数(人)	1.4	2.3	5.6	5.0	5.0	5.0	90.0%	5.0	90.0%
介護予防短期入所療養介護(病院等)	日数(日)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—
介護予防短期入所療養介護(病院等)	人数(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—
介護予防福祉用具貸与	人数(人)	551	612	681	695	705	715	103.5%	750	110.1%
特定介護予防福祉用具購入費	人数(人)	21	23	25	26	26	26	103.5%	26	103.5%
介護予防住宅改修	人数(人)	25	27	23	30	30	30	128.1%	30	128.1%
介護予防特定施設入居者生活介護	人数(人)	39	37	37	31	31	31	83.8%	31	83.8%
(2)地域密着型介護予防サービス										
介護予防認知症対応型通所介護	回数(回)	43.2	35.1	23.8	36.2	36.2	36.9	153.1%	42.4	178.1%
介護予防認知症対応型通所介護	人数(人)	6.6	6.8	5.3	7.0	7.0	7.0	132.9%	8.0	151.9%
介護予防小規模多機能型居宅介護	人数(人)	12	11	8	16	27	27	286.9%	27	331.9%
介護予防認知症対応型共同生活介護	人数(人)	0	0	0	0	0	0	—	0	—
(3)介護予防支援										
	人数(人)	1,723	1,051	994	985	995	1,005	100.1%	1,040	104.6%
※回(日)数は1月当たりの数、人数は1月当たりの利用者数。										
※1: 第7期平均値/平成29年度の値*100										
※2: 平成37年度の値/平成29年度の値*100										

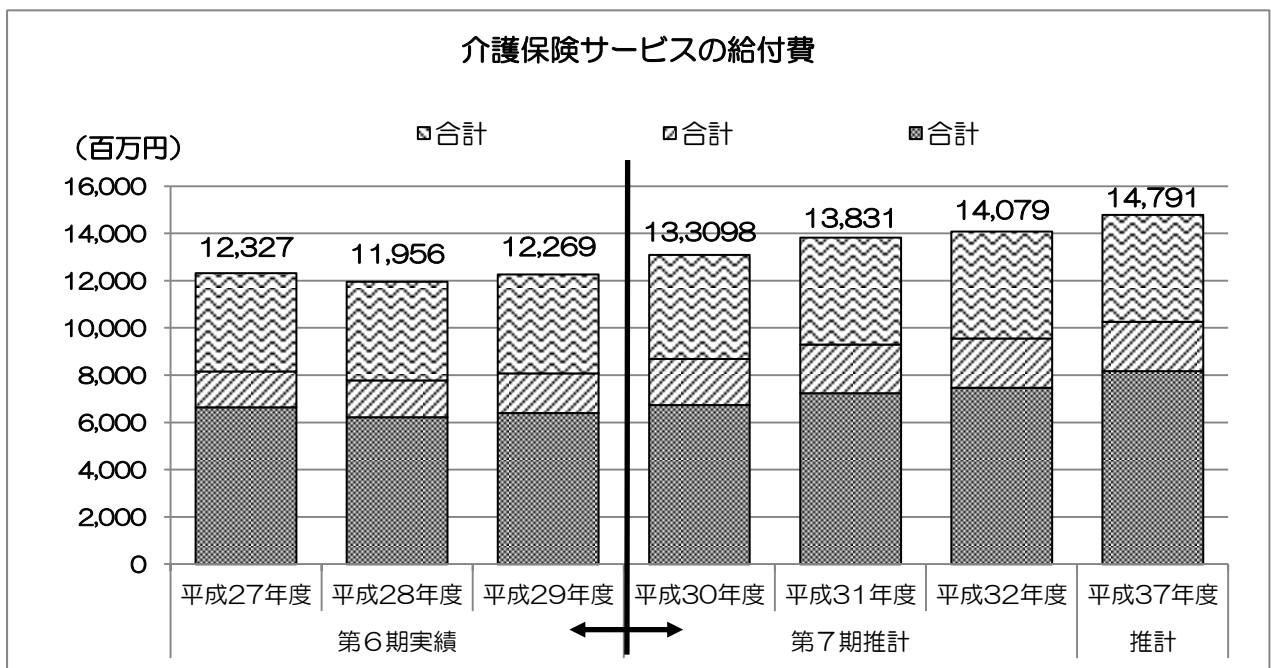
4 介護保険サービスの給付費

(1) 介護保険サービスの給付費の見込み

利用者数の増加等に伴い、給付費についても平成29年度の約122億7千万円から、平成32年度には約140億8千万円にまで増加するものと見込みます。

サービス別では、施設系サービスは、8%程度の増加を、在宅サービスは、17%程度、居住系サービスは23%程度を平成32年度には増加すると見込んでいます。

施設系サービス・・・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設
 居住系サービス・・・介護予防特定施設入居者生活介護、介護予防認知症対応型共同生活介護、特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護
 在宅サービス・・・施設サービス及び居住系サービス以外



単位 (百万円)

	第6期実績			第7期推計			推計
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成37年度
合計	12,327	11,956	12,269	13,098	13,831	14,079	14,791
在宅サービス	6,641	6,225	6,396	6,745	7,238	7,475	8,175
居住系サービス	1,526	1,526	1,690	1,945	2,068	2,079	2,091
施設系サービス	4,160	4,177	4,183	4,408	4,525	4,525	4,525

※平成29年度は、平成30年1月現在の推計値

※数値は、四捨五入しているため合計値と合わない場合があります。

第3部 介護保険事業の円滑な運営

第1章 介護保険事業の見込み

(2) 介護保険サービス類型別の給付費の見込み

サービス類型別の給付費については、以下のとおり見込んでいます。

① サービス類型別給付費（介護給付）の見込み

※平成29年度は、平成30年1月現在の推計値

単位（千円）

		第6期実績			第7期推計			伸び率① ※1	平成37年度	伸び率① ※2
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
(1) 居宅サービス										
訪問介護	給付費(千円)	713,392	735,148	808,304	763,843	776,953	789,781	96.1%	875,794	108.3%
訪問入浴介護	給付費(千円)	16,075	14,207	14,108	16,469	16,477	16,477	116.8%	16,477	116.8%
訪問看護	給付費(千円)	236,141	249,479	259,728	302,096	336,725	372,097	129.7%	436,754	168.2%
訪問リハビリテーション	給付費(千円)	86,334	93,210	105,593	112,375	124,121	136,427	117.7%	164,043	155.4%
居宅療養管理指導	給付費(千円)	36,069	43,464	44,092	46,659	48,972	50,834	110.7%	56,080	127.2%
通所介護	給付費(千円)	1,700,229	1,283,173	1,222,870	1,270,897	1,340,549	1,410,568	109.6%	1,520,407	124.3%
通所リハビリテーション	給付費(千円)	879,843	848,362	854,649	865,375	900,289	935,354	105.3%	1,042,755	122.0%
短期入所生活介護	給付費(千円)	274,478	262,847	256,251	278,216	281,554	284,768	109.9%	287,981	112.4%
短期入所療養介護(老健)	給付費(千円)	102,490	80,337	55,437	83,007	83,044	84,262	150.5%	85,479	154.2%
短期入所療養介護(病院等)	給付費(千円)	722	15	0	0	0	0	—	0	—
福祉用具貸与	給付費(千円)	353,272	358,798	369,114	375,004	379,512	384,021	102.8%	402,755	109.1%
住宅改修費	給付費(千円)	23,718	25,766	23,132	23,623	23,623	23,623	102.1%	23,623	102.1%
特定施設入居者生活介護	給付費(千円)	670,957	706,300	771,893	842,011	853,804	865,220	110.6%	876,635	113.6%
(2) 地域密着型サービス										
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	給付費(千円)	191,261	216,636	213,001	241,170	241,278	241,278	113.3%	330,680	155.2%
夜間対応型訪問介護	給付費(千円)	5,383	4,540	3,796	4,847	4,850	4,850	127.7%	4,850	127.8%
認知症対応型通所介護	給付費(千円)	222,414	220,531	222,941	248,181	255,525	264,997	114.9%	295,499	132.5%
小規模多機能型居宅介護	給付費(千円)	239,860	257,114	348,576	418,983	668,281	668,281	167.9%	668,281	191.7%
認知症対応型共同生活介護	給付費(千円)	819,053	815,261	885,791	950,119	1,061,629	1,061,629	115.7%	1,061,629	119.9%
地域密着型特定施設入居者生活介護	給付費(千円)	0	0	0	125,954	126,011	126,011	—	126,011	—
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	給付費(千円)	79,472	76,334	129,941	318,360	433,690	433,690	304.2%	433,690	333.8%
看護小規模多機能型居宅介護	給付費(千円)	223,105	224,446	232,485	249,747	249,859	249,859	107.5%	249,859	107.5%
地域密着型通所介護	給付費(千円)	0	372,194	439,046	476,011	508,525	541,325	115.8%	643,273	146.5%
(3) 施設サービス										
介護老人福祉施設	給付費(千円)	1,746,591	1,764,466	1,757,018	1,774,165	1,774,960	1,774,960	1	1,774,960	1
介護老人保健施設	給付費(千円)	2,319,940	2,324,963	2,281,600	2,294,784	2,295,811	2,295,811	1	2,295,811	1
介護医療院	給付費(千円)									
介護療養型医療施設	給付費(千円)	13,708	11,345	14,183	20,740	20,749	20,749	1	0	0
(4) 居宅介護支援	給付費(千円)	550,015	545,940	534,402	557,562	562,323	566,835	1	584,881	1
合計	給付費(千円)	11,518,258	11,549,772	11,860,909	12,676,192	13,385,108	13,619,701	1	14,294,950	1
※給付費は年間累計の金額										
※1: 第7期平均値/平成29年度の値*100										
※2: 平成37年度の値/平成29年度の値*100										

② サービス類型別給付費（予防給付）の見込み

※平成29年度は、平成30年1月現在の推計値

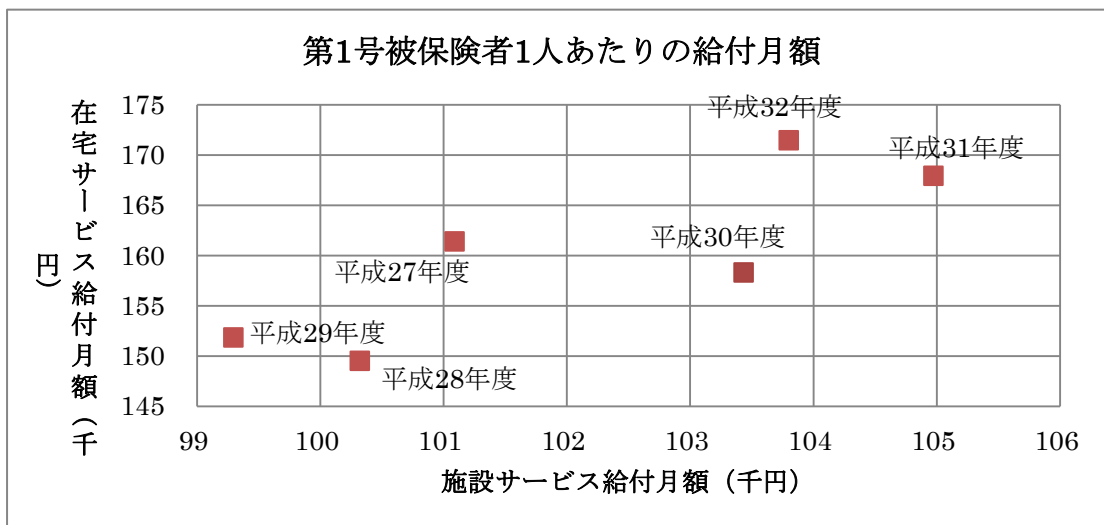
単位（千円）

		第6期実績			第7期推計			伸び率① ※1	平成37年度	伸び率① ※2
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
(1) 介護予防サービス										
介護予防訪問介護	給付費(千円)	100,339	9,321	136	0	0	0	0.0%	0	0.0%
介護予防訪問入浴介護	給付費(千円)	0	0	0	0	0	0	—	0	—
介護予防訪問看護	給付費(千円)	21,984	28,736	33,703	34,288	38,436	42,034	113.5%	50,466	149.7%
介護予防訪問リハビリテーション	給付費(千円)	17,783	13,417	15,437	21,891	26,096	30,363	169.2%	37,709	244.3%
介護予防居宅療養管理指導	給付費(千円)	2,828	3,914	4,717	5,512	6,397	7,279	135.6%	9,043	191.7%
介護予防通所介護	給付費(千円)	269,632	601	81	0	0	0	0.0%	0	0.0%
介護予防通所リハビリテーション	給付費(千円)	184,796	174,264	178,177	177,457	181,162	184,787	101.7%	199,289	111.8%
介護予防短期入所生活介護	給付費(千円)	4,352	4,256	6,515	5,555	5,660	5,762	86.9%	5,865	90.0%
介護予防短期入所療養介護(老健)	給付費(千円)	800	938	2,418	1,951	1,952	1,995	81.3%	2,037	84.2%
介護予防短期入所療養介護(病院等)	給付費(千円)	0	0	0	0	0	0	—	0	—
介護予防福祉用具貸与	給付費(千円)	35,860	40,669	46,847	47,718	48,348	48,978	103.2%	51,243	109.4%
特定介護予防福祉用具購入費	給付費(千円)	6,075	5,903	7,263	7,518	7,518	7,518	103.5%	7,518	103.5%
介護予防住宅改修	給付費(千円)	22,858	23,333	18,238	23,450	23,450	23,450	128.6%	23,450	128.6%
介護予防特定施設入居者生活介護	給付費(千円)	35,519	32,715	32,483	26,546	26,558	26,558	81.7%	26,558	81.8%
(2) 地域密着型介護予防サービス										
介護予防認知症対応型通所介護	給付費(千円)	3,580	3,309	2,143	3,358	3,360	3,424	157.7%	3,913	2
介護予防小規模多機能型居宅介護	給付費(千円)	10,458	8,944	6,560	13,650	23,540	23,540	308.6%	23,540	4
介護予防認知症対応型共同生活介護	給付費(千円)	223	0	0	0	0	0	—	0	—
(3) 介護予防支援										
給付費(千円)		91,332	55,829	52,978	52,759	53,319	53,855	100.6%	55,731	1
合計	給付費(千円)	808,417	406,147	407,696	421,653	445,796	459,543	108.5%	496,362	121.7%
※給付費は年間累計の金額										
※1: 第7期平均値/平成29年度の値*100										
※2: 平成37年度の値/平成29年度の値*100										

③ 在宅サービス・施設サービスのバランス（第1号被保険者1人当たりの給付月額）

単位：千円

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
在宅サービス	161	149	152	158	168	171
施設・居住系サービス	101	100	99	103	105	104



5 サービス別の整理

ここでは、前掲の利用者数及び給付費の見込みについて、各サービス別に整理しています。平成29年度は、平成30年1月現在の見込値を記載しています。

各表の利用者数と給付費について

利用者数：第6期の実績値に基づいて月ごとの延べ人数として算定しているため小数点以下を四捨五入しています。また、給付費については、第6期期間においては実績値（平成29年度は実績をもとにした推計値）、第7期期間においては、1人当たりの平均給付費をもとに推計しています。そのため、利用者が0である場合においても給付費が計上される場合があります。

(1) 居宅サービス

① 訪問介護

[訪問介護]

要介護者に対して、居宅において介護福祉士等によって、食事・入浴・排せつ等の介護や日常生活上の世話をを行います。介護保険法上では、単なる家事の手伝いや、身の回りのお世話ではなく、専門的技術を通じた関わりによって「その人らしい自立した日常生活の実現を目指すこと」とされています。ここでいう「居宅」には、軽費老人ホーム（ケアハウス）や有料老人ホーム、養護老人ホーム等の居室も含まれます。第6期期間の利用者数から第7期期間において平均2%程度の利用者増を想定しています。

介護予防訪問介護については、平成28年度から介護予防・日常生活支援総合事業に移行したため、第7期においては、見込みません。

(単位：人/月、千円/年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
訪問介護	利用者数(人)	911	933	944	950	960	970	1,060
	給付費(千円)	713,392	735,148	808,304	763,843	776,953	789,781	875,794
介護予防 訪問介護	利用者数(人)	480	44	1	0	0	0	0
	給付費(千円)	100,339	9,321	136	0	0	0	0
合 計	利用者数(人)	1,391	977	945	1,030	1,050	1,100	1,220
	給付費(千円)	813,731	744,469	808,440	763,843	776,953	789,781	875,794

② 訪問入浴介護

[訪問入浴介護]

寝たきりなどのために介助がなければ入浴できない要介護者のために、入浴設備や簡易浴槽を積んだ移動入浴車で家庭を訪問し、入浴や洗髪の介助をするサービスです。

今後も現状程度の利用者を想定しています。

[介護予防訪問入浴介護]

要支援者の介護予防を目的として行う訪問入浴介護です。利用者は見込んでいません。

(単位：人／月、千円／年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
訪問入浴 介護	利用者数(人)	30	26	25	29	29	29	29
	給付費(千円)	16,075	14,207	14,108	16,469	16,477	16,477	16,477
介護予防 訪問入浴 介護	利用者数(人)	0	0	0	0	0	0	0
	給付費(千円)	0	0	0	0	0	0	0
合 計	利用者数(人)	30	26	25	29	29	29	29
	給付費(千円)	16,075	14,207	14,108	16,469	16,477	16,477	16,477

③ 訪問看護

[訪問看護]

訪問看護ステーションなどの看護師・保健師等が要介護者の家庭を訪問し、主治医と連絡を取りながら、病状の確認や床ずれ・カテーテル管理などの療養上の処置、必要な診療の補助を行うサービスです。第7期期間において平均19%程度の利用者増を想定しています。

[介護予防訪問看護]

要支援者の介護予防を目的として行う訪問看護です。第7期期間において平均22%程度の利用者増を想定しています。

(単位：人／月、千円／年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
訪問看護	利用者数(人)	497	548	605	655	720	785	905
	給付費(千円)	236,141	249,479	259,728	302,096	336,725	372,097	436,754
介護予防 訪問看護	利用者数(人)	65	80	90	100	111	120	142
	給付費(千円)	21,984	28,736	33,703	34,288	38,436	42,034	50,466
合 計	利用者数(人)	562	628	695	755	831	905	1,047
	給付費(千円)	258,125	259,300	293,431	336,384	375,161	414,131	487,220

④ 訪問リハビリテーション

[訪問リハビリテーション]

理学療法士または作業療法士が要介護者の家庭を訪問して、専門的な機能回復訓練を行うサービスです。在宅の医療を必要とする人が増える中、元気で暮らし続けるための環境づくりをすすめ、過去の実績を踏まえ、介護予防訪問リハビリテーシ

第3部 介護保険事業の円滑な運営

第1章 介護保険事業の見込み

ヨンは、毎年10名程度の利用者増を、訪問リハビリテーションは、第7期期間において平均20%程度の利用者増を想定しています。

(単位：人/月、千円/年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
訪問リハビリ テーション	利用者数(人)	223	240	260	285	312	340	405
	給付費(千円)	86,334	93,210	105,593	112,375	124,121	136,427	164,043
介護予防 訪問リハビリ テーション	利用者数(人)	48	40	52	63	74	85	105
	給付費(千円)	17,783	13,417	15,437	21,891	26,096	30,363	37,709
合 計	利用者数(人)	271	280	312	348	386	425	510
	給付費(千円)	104,117	106,627	121,030	134,266	150,217	166,790	201,752

⑤ 居宅療養管理指導

[居宅療養管理指導]

医師・歯科医師・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士が通院のできない要介護者の家庭を訪問して、療養・服薬・栄養等に関する指導や、必要に応じ入院・入所に関する相談・助言を行うサービスです。第7期期間において平均10%程度の利用者増を想定しています。

[介護予防居宅療養管理指導]

要支援者に対して、介護予防を目的として行う居宅療養管理指導です。今後も利用者の増加を想定しています。

(単位：人/月、千円/年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
居宅療養管理 指導	利用者数(人)	468	520	546	575	603	626	690
	給付費(千円)	36,069	43,464	44,092	46,659	48,972	50,834	56,080
介護予防 居宅療養管理 指導	利用者数(人)	37	43	56	65	75	85	105
	給付費(千円)	2,828	3,914	4,717	5,512	6,397	7,279	9,043
合 計	利用者数(人)	505	563	612	640	678	711	795
	給付費(千円)	38,897	47,378	48,809	52,171	55,369	58,113	65,123

⑥ 通所介護

[通所介護]

居宅の要介護者をデイサービスセンター等へ送迎し、食事・入浴・排せつ等の日常生活上の介助及び機能訓練を行うサービスです。閉じこもりがちな要介護者の孤独感の解消と家族の介護負担の軽減を図ることも目的としています。

予防通所介護は、平成28年度から介護予防・日常生活支援総合事業に移行したため、第7期においては、見込みません

また、第6期計画期間中の小規模多機能型居宅介護等の地域密着型サービスの整備により、通所介護からの移行による利用者数が増加したことから、今後も地域密着型サービスの整備を進めることから第7期計画期間において平均5%程度の利用者増を想定しています。

(単位：人／月、千円／年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
通所介護	利用者数(人)	1,675	1,270	1,193	1,230	1,280	1,330	1,415
	給付費(千円)	1,700,229	1,283,173	1,222,870	1,270,897	13,40,549	1,410,568	1520,407
介護予防通所介護	利用者数(人)	823	2	0	0	0	0	0
	給付費(千円)	269,632	601	81	0	0	0	0
合計	利用者数(人)	2,498	1,272	1,193	1,290	1,340	1,390	1,510
	給付費(千円)	1,969,861	1,283,774	1,222,951	1,270,897	13,40,549	1,410,568	1520,407

⑦ 通所リハビリテーション

[通所リハビリテーション]

要介護者に対して老人保健施設や病院に通所・通院し、理学療法士や作業療法士等のリハビリテーションの専門家による機能回復訓練等を行うサービスです。

第7期計画期間において平均5%程度の利用者増を想定しています。

[介護予防通所リハビリテーション]

要支援者に対して老人保健施設や病院に通所・通院し、理学療法士や作業療法士等のリハビリテーションの専門家による機能回復訓練等を受けながら、運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上を行うサービスです。

第7期計画期間において平均2%程度の利用者増を想定しています。

(単位：人／月、千円／年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
通所リハビリテーション	利用者数(人)	927	916	921	940	965	990	1,085
	給付費(千円)	879,843	848,362	854,649	865,375	900,289	935,354	1,042,755
介護予防通所リハビリテーション	利用者数(人)	465	458	454	450	460	470	510
	給付費(千円)	184,796	174,264	178,177	177,457	181,162	184,787	199,289
合計	利用者数(人)	1,392	1,374	1,375	1,390	1,425	1,460	1,595
	給付費(千円)	1,064,639	1,022,626	1,032,826	1,042,832	1,081,451	1,120,141	1,242,044

第3部 介護保険事業の円滑な運営

第1章 介護保険事業の見込み

⑧ 短期入所生活介護

[短期入所生活介護]

要介護者を家庭の事情(介護者の病気・冠婚葬祭・家族旅行等)で一時的に介護できなくなった場合、介護老人福祉施設に短期間入所して、食事、入浴、排せつ等の日常生活上の介助及び機能訓練を行うサービスです。家族の介護負担の軽減を図ることも目的としています。

今後も現状程度の利用者を想定しています。

[介護予防短期入所生活介護]

要支援者が介護老人福祉施設に短期間入所して、介護予防を目的として、日常生活上の支援と機能訓練を行うサービスです。

今後も現状程度の利用者を想定しています。

(単位：人／月、千円／年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
短期入所生活 介護	利用者数(人)	313	303	303	315	315	315	315
	給付費(千円)	274,478	262,847	256,251	278,216	281,554	284,768	287,981
介護予防 短期入所生活 介護	利用者数(人)	13	11	16	15	15	15	15
	給付費(千円)	4,352	4,256	6,515	5,555	5,660	5,762	5,865
合 計	利用者数(人)	326	314	319	330	330	330	330
	給付費(千円)	278,830	267,103	262,766	283,771	287,214	290,530	293,846

⑨ 短期入所療養介護

[短期入所療養介護]

短期入所生活介護と同様のショートステイですが、入所する場所が介護老人保健施設、介護療養型医療施設で、看護や医学的管理の下に介護や機能訓練その他必要な医療などを受けるサービスです。

老人保健施設分については、今後も現状程度の利用者を想定しています。

病院等については、過去の実績を踏まえ、利用者を想定しません。

(単位：人／月、千円／年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
短期入所療養 介護（老健）	利用者数（人）	111	88	67	90	90	90	90
	給付費（千円）	102,490	80,337	55,437	83,007	83,044	84,262	85,479
介護予防 短期入所療養 介護（老健）	利用者数（人）	1	2	6	5	5	5	5
	給付費（千円）	800	938	2,418	1,951	1,952	1,995	2,037
合 計	利用者数（人）	112	90	73	95	95	95	95
	給付費（千円）	103,290	81,275	57,855	84,958	84,996	86,257	87,516

(単位：人／月、千円／月)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
短期入所療養 介護（病院等）	利用者数（人）	1	0	0	0	0	0	0
	給付費（千円）	722	15	0	0	0	0	0
介護予防 短期入所療養 介護（病院等）	利用者数（人）	0	0	0	0	0	0	0
	給付費（千円）	0	0	0	0	0	0	0
合 計	利用者数（人）	1	0	0	0	0	0	0
	給付費（千円）	722	15	0	0	0	0	0

⑩ 福祉用具貸与

[福祉用具貸与]

居宅の要介護者へ日常生活の自立を助けるために必要な福祉用具を貸与するサービスです。

第7期計画期間において平均2%程度の利用者増を想定しています。

(単位：人／月、千円／年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
福祉用具貸与	利用者数（人）	2,030	2,092	2,157	2,190	2,215	2,240	2,340
	給付費（千円）	353,272	358,798	369,114	375,004	379,512	384,021	402,755
介護予防 福祉用具貸与	利用者数（人）	551	612	681	695	705	715	750
	給付費（千円）	35,860	40,669	46,847	47,718	48,348	48,978	51,243
合 計	利用者数（人）	2,581	2,702	2,838	2,885	2,920	2,955	3,090
	給付費（千円）	389,132	399,467	415,961	422,722	427,860	432,999	453,998

第3部 介護保険事業の円滑な運営

第1章 介護保険事業の見込み

⑪ 特定福祉用具購入費

[特定福祉用具購入]

居宅の要介護者へ日常生活の自立を助けるために必要な福祉用具を販売するサービスで、購入費の支給があります。

今後も現状程度の利用者を想定しています。

(単位：人／月、千円／年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
特定福祉用具 購入費	利用者数(人)	42	42	39	49	49	49	49
	給付費(千円)	13,736	14,898	12,957	15,994	15,994	15,994	15,994
特定介護予防 福祉用具購 入費	利用者数(人)	21	23	25	26	26	26	26
	給付費(千円)	6,075	5,903	7,263	7,518	7,518	7,518	7,518
合 計	利用者数(人)	63	65	64	75	75	75	75
	給付費(千円)	19,811	20,801	20,220	23,512	23,512	23,512	23,512

⑫ 住宅改修費

[住宅改修]

要介護者の在宅生活での安全確保及び自立を目的として、その身体機能の状態に合わせて、住んでいる住宅への手すりの取り付け、段差解消等の改修にかかる費用を支給するサービスです。

今後も現状程度の利用者を想定しています。

(単位：人／月、千円／年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
住宅改修費	利用者数(人)	32	31	29	30	30	30	30
	給付費(千円)	23,718	25,766	23,132	23,623	23,623	23,623	23,623
介護予防 住宅改修費	利用者数(人)	25	27	23	30	30	30	30
	給付費(千円)	22,858	23,333	18,238	23,450	23,450	23,450	23,450
合 計	利用者数(人)	57	58	56	60	60	60	60
	給付費(千円)	46,576	49,099	41,370	47,073	47,073	47,073	47,073

⑬ 特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護

[特定施設入居者生活介護]

指定を受けた有料老人ホーム・ケアハウス等に入所している要介護者に対して、その施設が食事、入浴、排せつ等の日常生活上の介助及び療養上の介助を行うサービスです。

第7期計画期間において平均9%程度の利用者増を想定しています。

[介護予防特定施設入居者生活介護]

指定を受けた有料老人ホーム・ケアハウス等に入所している要支援者に対して、その施設が日常生活上の一部の支援を行うサービスです。

今後も現状程度の利用者を想定しています。

(単位：人/月、千円/年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
特定施設入居者生活介護	利用者数(人)	303	325	341	369	374	379	384
	給付費(千円)	670,957	706,300	771,893	842,011	853,804	865,220	876,635
介護予防特定施設入居者生活介護	利用者数(人)	39	37	37	31	31	31	31
	給付費(千円)	35,519	32,715	32,483	26,546	26,558	26,558	26,558
合計	利用者数(人)	342	362	381	400	405	410	415
	給付費(千円)	1,026,476	739,015	804,376	868,557	880,362	891,778	903,193

⑭ 居宅介護支援・介護予防支援

[居宅介護支援]

居宅の要介護者が地域密着型サービス、居宅サービス等又は保健医療サービス、福祉サービスを適切に利用できるよう要介護者から依頼を受けて、その心身の状況、環境、要介護者及び家族の希望により、利用する居宅サービスの種類と量を定めた計画(ケアプラン)を作り、その計画に基づくサービスの提供が確保されるよう事業者と連絡調整するサービスです。

今後は、第7期計画期間において平均4%程度の利用者増を想定しています。

[介護予防支援]

居宅の要支援者が介護予防サービス、地域密着型介護予防サービス等又は介護予防を目的とした保健医療サービス、福祉サービスを適切に利用できるよう要支援者から依頼を受けて、その心身の状況、環境、要支援者及び家族の希望により、利用する介護予防サービス等の種類と量を定めた計画(介護予防ケアプラン)を作り、そ

第3部 介護保険事業の円滑な運営

第1章 介護保険事業の見込み

の計画に基づくサービスの提供が確保されるよう事業者と連絡調整するサービスです。地域包括支援センターが介護予防マネジメントの一環として行います。

平成28年4月からの介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、一時的に利用者が減少しましたが、第7期計画期間において現状程度の利用者を想定しています。

(単位：人／月、千円／年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
居宅介護支援	利用者数(人)	3,119	3,147	3,141	3,250	3,275	3,300	3,400
	給付費(千円)	550,015	545,940	534,402	557,562	562,323	566,835	584,881
介護予防支援	利用者数(人)	1,723	1,051	994	985	995	1,005	1,040
	給付費(千円)	91,332	55,829	52,978	52,759	53,319	53,855	55,731
合 計	利用者数(人)	4,842	4,198	4,135	4,235	4,270	4,305	4,440
	給付費(千円)	641,347	601,769	587,380	610,321	615,642	620,690	640,612

(2) 地域密着型サービス・地域密着型介護予防サービス

① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

重度者を始めとした要介護高齢者の在宅生活を支えるため、日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護が密接に連携しながら、短時間の定期巡回型訪問と随時の

対応を行うサービスです。利用者の促進を図り、第7期計画では、13%程度の利用者の増加を見込みます。

(単位：人／月、千円／年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	利用者数(人)	115	131	132	150	150	150	200
	給付費(千円)	191,261	216,636	213,001	241,170	241,278	241,278	330,680

② 夜間対応型訪問介護

ホームヘルパーが、夜間の定期的な巡回訪問又は通報を受け、食事・入浴・排せつ等の日常生活上の介助を行うサービスです。

今後も現状程度の利用者を想定しています。

(単位：人／月、千円／年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
夜間対応型訪問介護	利用者数(人)	23	23	18	23	23	23	23
	給付費(千円)	5,383	4,540	3,796	4,847	4,850	4,850	4,850

③ 認知症対応型通所介護

[認知症対応型通所介護]

居宅の要介護者で、認知症である方のみをデイサービスセンター等へ送迎し、食事・入浴・排せつ等の日常生活上の介助及び機能訓練を行うサービスです。閉じこもりがちな要介護者等の孤独感の解消と家族の介護負担の軽減を図ることも目的としています。

第7期計画期間において平均10%程度の利用者増を想定しています。

[介護予防認知症対応型通所介護]

居宅の要支援者で認知症である方に対して、デイサービスセンター等において、日常生活上の介助及び機能訓練を行うサービスです。

今後も現状程度の利用者を想定しています。

(単位：人／月、千円／年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
認知症対応型通所介護	利用者数(人)	159	171	175	187	192	197	216
	給付費(千円)	222,414	220,531	222,941	248,181	255,525	264,997	295,499
介護予防認知症対応型通所介護	利用者数(人)	7	7	5	7	7	7	8
	給付費(千円)	3,580	3,309	2,143	3,358	3,360	3,424	3,913
合計	利用者数(人)	166	178	180	194	199	204	224
	給付費(千円)	225,994	223,840	225,084	251,539	258,885	268,421	299,412

④ 小規模多機能型居宅介護

[小規模多機能型居宅介護]

居宅の要介護者について、その方の心身の状況や環境等に応じて、またはその方の選択により、居宅への訪問、サービス事業所への通所若しくは短期間宿泊して、食事・入浴・排せつ等の日常生活上の介助及び機能訓練を行うサービスです。サービスを利用するためには、事業所への登録が必要です。

第3部 介護保険事業の円滑な運営

第1章 介護保険事業の見込み

なお、第7期計画では、新たに5箇所の事業所を整備を計画し、整備計画に合わせ利用者増を想定します。

[介護予防小規模多機能型居宅介護]

居宅の要支援者に対して、介護予防を目的として行う小規模多機能型居宅介護です。事業所の整備に合わせ利用者増を想定しています。

(単位：人/月、千円/年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
小規模多機能型居宅介護	利用者数(人)	106	114	152	184	293	293	293
	給付費(千円)	239,860	257,114	348,576	418,983	668,281	668,281	668,281
介護予防小規模多機能居宅介護	利用者数(人)	12	11	8	16	27	27	27
	給付費(千円)	10,458	8,944	6,560	13,650	23,540	23,540	23,540
合計	利用者数(人)	118	125	160	200	320	320	320
	給付費(千円)	250,318	266,058	355,136	432,633	691,821	691,821	691,821

⑤ 地域密着型通所介護

平成28年度からのサービスで、定員18名以下の通所介護です。

第7期計画期間において平均10%程度の利用者増を想定しています。

(単位：人/月、千円/年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
地域密着型通所介護	利用者数(人)	0	449	491	520	545	570	655
	給付費(千円)	0	372,194	439,046	476,011	508,525	541,325	643,273

⑥ 認知症対応型共同生活介護

[認知症対応型共同生活介護]

認知症のために一人暮らしはできないが、サポートがあれば生活できる要介護者に対して、1ユニット5~9人の共同生活住宅(グループホーム)を提供し、介護職員の助けを借りながら家庭的雰囲気の中で生活するサービスです。

第7期計画では、新たに2箇所の整備に向けて取り組み、整備計画に合わせ利用者増を見込みます。

[介護予防認知症対応型共同生活介護]

認知症の要支援者(要支援2に限る)に対して、共同生活住居において、介護職

員の助けを借りながら家庭的雰囲気の中で生活するサービスです。

第6期の実績を踏まえ、第7期においては利用者を想定しません。

(単位：人／月、千円／年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
認知症対応型 共同生活介護	利用者数(人)	281	279	290	316	353	353	353
	給付費(千円)	819,053	815,261	885,791	950,119	1,061,629	1,061,629	1,061,629
介護予防 認知症対応型 共同生活介護	利用者数(人)	0	0	0	0	0	0	0
	給付費(千円)	223	0	0	0	0	0	0
合 計	利用者数(人)	281	279	290	316	353	353	353
	給付費(千円)	819,276	815,261	885,791	950,119	1,061,629	1,061,629	1,061,629

⑦ 看護小規模多機能型居宅介護

小規模多機能型居宅介護と訪問看護など、複数の居宅サービスや地域密着型サービスを組み合わせて提供するサービスです。

今後も現状程度の利用者を想定しています。

(単位：人／月、千円／年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
看護小規模多 機能型居宅介 護	利用者数(人)	83	83	85	90	90	90	90
	給付費(千円)	223,105	224,446	232,485	249,747	249,859	249,859	249,859

⑧ 地域密着型特定施設入居者生活介護

定員29名以下で指定を受けた有料老人ホーム・ケアハウス等に入所している要介護者に対して、その施設が食事、入浴、排せつ等の日常生活上の介助及び療養上の介助を行うサービスです。

第7期計画では、2事業所程度の住宅型有料老人ホームから介護付き有料老人ホームへの転換について指定していくこととし、利用者についても増加を見込みます。

(単位：人／月、千円／年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
地域密着型特 定施設入居者 生活介護	利用者数(人)	0	0	0	58	58	58	58
	給付費(千円)	0	0	0	125,954	126,011	126,011	126,011

第3部 介護保険事業の円滑な運営

第1章 介護保険事業の見込み

⑨ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

定員29名以下で、食事や排せつなどの介護が常時必要で、自宅では介護が困難な要介護者が入所し、食事・入浴・排せつ等の日常生活の介助、機能訓練、健康管理などが受けられる施設（特別養護老人ホーム）です。平成29年度に整備された1事業所と第7期計画期間に1事業所を整備計画し、利用者増を見込みます。

(単位：人／月、千円／年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	利用者数（人）	22	21	30	73	102	102	102
	給付費（千円）	79,472	76,334	129,941	318,360	433,690	433,690	433,690

(3) 介護保険施設サービス

① 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

食事や排せつなどの介護が常時必要で、自宅では介護が困難な要介護者が入所し、食事・入浴・排せつ等の日常生活の介助、機能訓練、健康管理などが受けられる施設（特別養護老人ホーム）です。

今後も現状程度の利用者を想定しています。

(単位：人／月、千円／年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
介護老人福祉施設	利用者数（人）	557	566	549	549	549	549	549
	給付費（千円）	1,746,591	1,764,466	1,757,018	1,774,165	1,774,960	1,774,960	1,774,960

② 介護老人保健施設

治療が終わって病状が安定し、居宅復帰のためのケアが必要な要介護者が入所し、医療管理下での介護機能訓練、日常生活の介助などが受けられる施設です。

今後も現状程度の利用者を想定しています。

(単位：人／月、千円／年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
介護老人保健施設	利用者数（人）	719	722	700	700	700	700	700
	給付費（千円）	2,319,940	2,324,963	2,281,600	2,294,784	2,295,811	2,295,811	2,295,811

③ 介護療養型医療施設

病状が安定期にあり、長期の療養を必要とする要介護者のための療養病床等を有する診療所又は病院で、医療、療養上の管理、看護などが受けられる施設です。

介護医療院への転換まで、経過措置期間が延長となったことから今後も現状程度の利用を想定しています。なお、経過期間を過ぎた平成37年度には利用者は見込みません。

(単位：人／月、千円／年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
介護療養型医療施設	利用者数(人)	3	2	3	5	5	5	0
	給付費(千円)	13,708	11,345	14,183	20,740	20,749	20,749	0

④ 介護医療院

今後、増加が見込まれる慢性期の医療・介護ニーズへの対応のため、「日常的な医学管理が必要な重介護者の受入れ」や「看取り・ターミナル」等の機能と、「生活施設」としての機能を兼ね備えた新たな介護施設です。第7期計画では、事業所の整備や利用者は見込みません。

(単位：人／月、千円／年)

		第6期実績			第7期見込			平成37年度
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
介護医療院	利用者数(人)	0	0	0	0	0	0	0
	給付費(千円)	0	0	0	0	0	0	0

第2章 介護給付適正化事業

介護給付の適正化は、適切なサービスの確保とその結果としての費用の効率化を通じて介護保険制度への信頼を高め、持続可能な介護保険制度の構築に資するため、介護給付の適正化を次のとおり推進していきます。

また、介護給付適正化事業を円滑、効果的に実施するため、計画期間中の実施状況や効果、問題点を検証しながら、取組の改善に努めるものとします。

(1) 要介護認定の適正化

要介護（要支援）認定調査は、介護保険法の定めにより全国一律の基準により行われています。調査の統一性と公平性を確保するため、一次判定から二次判定の軽重度変更率の全国の保険者との比較分析を行い、要介護認定の標準化を図っていきます。

また、調査員の研修を充実するほか、認定調査を委託する居宅介護支援事業所等にも、鳥取県が実施する新任や現任の認定調査員研修への参加を要請するなど、調査の知識や技術の向上を図ります。

(2) ケアプランの適正化

介護保険制度の目的である「自立支援」を実現するために、鳥取県のケアプラン点検員派遣事業を活用しながら、自立支援の観点からケアプランを点検し、平成30年度から指定権限が鳥取県から移譲される居宅介護支援事業所の適正な指定を行うとともに鳥取県と連携して指導・助言を行っていきます。

また、米子市に配属された介護給付適正化専門員によるケアマネージャーの指導を行いケアプランの適正化を図ります。

(3) 縦覧点検・医療情報との突合の推進

介護給付費の適正化を図るため、鳥取県国民健康保険団体連合会による診療報酬請求明細書の縦覧点検・医療情報との突合データを活用した点検、住宅改修及び福祉用具購入等に係る適正な調査に取り組みます。

(4) 介護給付通知

介護サービス利用者への介護給付費通知の送付については、費用対効果を十分に見極めながら検討します。

(5) 制度の普及啓発

広報「よなご」等による介護保険制度やサービス等の紹介、「介護保険のガイドブック」等の発行による制度案内、市のホームページを活用した情報提供、ふれあ

い説明会の活用など、様々な方法により介護保険制度の周知・普及を図ります。

(6) 利用者負担軽減施策の啓発

低所得者の方で介護保険サービスが必要な場合、安心してサービス利用を受けていただくため、高額介護サービス費や特定入所者介護サービス費の周知に努めます。また、社会福祉法人減免については、社会福祉法人の社会的役割として適正な実施が必要なものであり、事業実施の働きかけに努めます。

(7) 事業者への適切な指導・監査の実施

鳥取県と連携を図りながら介護保険法に基づき介護サービス事業者に対し、実地指導や集団指導により介護給付等対象サービスの取扱や介護報酬の請求等に関する事項について、周知徹底することを目的に指導を行います。

ケアマネジメントに関する保険者の基本方針について、介護支援専門員に周知できるように取り組んでいきます。

また、指定基準違反や介護報酬の請求に関する不正・不当がある場合等は監査を実施します。

(8) 福祉用具・住宅改修等の適切な利用

福祉用具や住宅改修の利用に際し、建設専門職やリハビリテーション専門職が関与する仕組みづくりについて検討し、適切な福祉用具の貸与や、住宅改修の点検を行っていきます。

(9) 苦情処理

介護保険制度におけるサービスの内容や質に関する苦情処理については、サービス利用者へ苦情処理窓口の周知を図ると共に、鳥取県国民健康保険団体連合会等との連携を図り、適切かつ迅速な処理に努めます。

(10) 審査請求について

要介護認定、保険給付、保険料等に関する処分について市民からの不服がある場合には、個人のプライバシーを最大限に尊重した上で、処分を行った理由や経過についての説明を十分に行い、鳥取県介護保険審査会に連絡する等、適切な対応を図ります。

(11) 事業者相互間の連携の確保について

支援を必要とする方が、介護保険のサービスを安心して利用できるよう、サービスの質の向上に向けた事業者の取組を支援すると共に、事業者の連絡会議を開催し、サービスの利用状況、制度上の課題等の情報交換を行うことにより制度の円滑な実施を図っていきます。

第3章 第7期期間中の保険料の算定

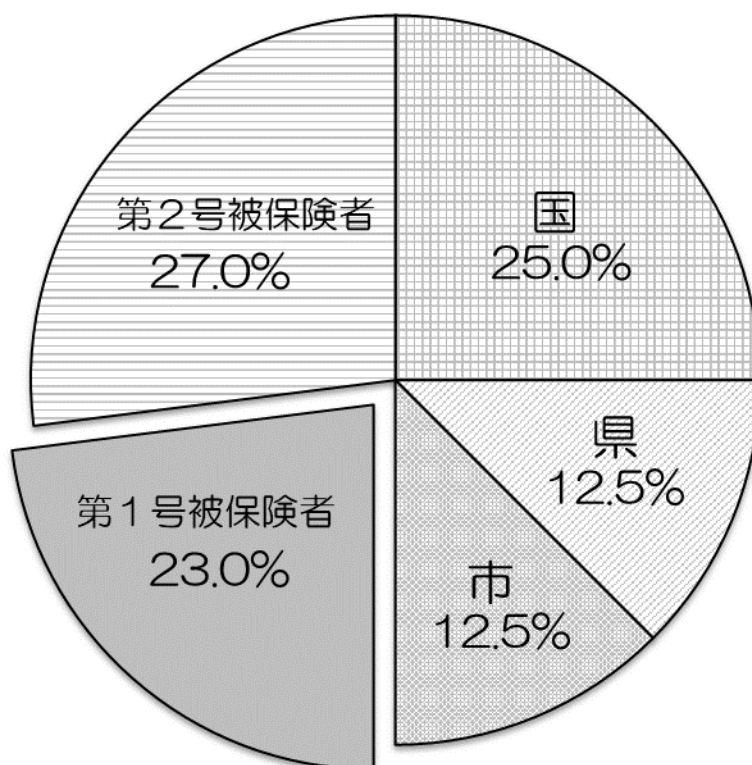
1 介護保険料の負担割合

介護保険制度における第1号被保険者（65歳以上）の保険料については、保険者が、保険事業計画期間である3年間に被保険者が利用する介護サービスの利用料等を推計し、保険給付に必要な費用（保険給付費）等を算出した上で、保険料額を決定します。

介護保険事業に必要な法定サービスにかかる保険給付費は、サービス利用時の利用者負担を除き、50%を公費（居宅サービスは、国50%、県12.5%、市12.5%・施設サービスは、国20%、県17.5%、市12.5%）で負担し、50%を第1号被保険者と第2号被保険者（40歳～64歳）で負担することになっています。

第1号被保険者と第2号被保険者の保険料の負担割合は、第7期計画期間においては、第1号被保険者は、23.0%、第2号被保険者は、27.0%となります。

介護保険給付費の負担割合



2 標準給付費見込額と保険料収納必要額

(1) 標準給付費

標準給付費とは、総給付費、特定入所者介護サービス費等給付額、高額介護サービス費等給付額、高額医療合算介護サービス費等給付額、算定対象審査支払手数料を加算したものになります。平成30年度から平成32年度までの3年間の標準給付費見込額は、約437億1千万円になります。

(単位：千円)

区分	第7期計画			合計 (3年間)	平成37年度
	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
介護給付費	12,676,192	13,385,108	13,619,701	39,681,001	14,294,950
予防給付費	421,653	445,796	459,543	1,326,992	496,362
総給付費（調整前）	13,097,845	13,830,904	14,079,244	41,007,993	14,791,312
一定以上所得者の利用者負担の見直しに伴う財政影響額	6,893	11,143	11,572	29,608	12,670
消費税率等の見直しを勘案した影響額	0	167,910	342,643	510,553	360,961
総給付費（調整後）	13,090,952	13,987,671	14,410,316	41,488,938	15,139,603
	484,100	486,614	489,127	1,459,841	502,700
高額介護サービス等給付額	199,500	203,500	207,500	610,500	227,500
高額介護合算介護サービス費	30,000	31,500	32,000	93,500	34,500
保険給付費	13,804,552	14,709,285	15,138,942	43,652,779	15,904,303
算定対象審査支払手数料	19,712	19,722	19,732	59,166	19,779
標準給付費見込額	13,824,264	14,729,007	15,158,674	43,711,945	15,924,082

※上記表は、千円単位で表示されていますが保険料計算では1円単位で算定するため合計額が合わない場合があります。

(2) 地域支援事業費

地域支援事業費とは、高齢者が地域で自立した日常生活を送れることを目的に、米子市が実施する事業です。地域支援事業には、「介護予防事業」、「包括的支援事業」、「任意事業」があります。地域支援事業費については、平成30年度から平成32年度までの3年間で、約21億円を見込んでいます。

(単位：千円)

区分	第7期計画			合計 (3年間)	平成37年度
	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
介護予防・日常生活支援総合事業	484,500	494,190	504,074	1,482,764	504,074
包括的支援事業・任意事業	201,700	205,734	209,849	617,283	209,849
地域支援事業	686,200	699,924	713,923	2,100,046	713,922

※上記表は、千円単位で表示されていますが保険料計算では1円単位で算定するため合計額が合わない場合があります。

(3) 保険料収納必要額

標準給付費見込額等をもとに、次の算定式により、第7期計画期間（平成30年～平成32年）の保険料収納必要額を算定します。

$$\text{保険料収納必要額} = \text{第1号被保険者負担分相当額 (A)} + \text{調整交付金相当額 (B)} - \text{調整交付金見込額 (C)} + \text{財政安定化基金拠出金見込額 (D)} + \text{財政安定化基金償還金 (E)} - \text{準備基金取崩額 (F)} + \text{審査支払手数料差引額 (G)} + \text{市町村特別給付費等 (H)} + \text{市町村相互財政安定化事業負担額 (I)} - \text{市町村相互財政安定化事業交付額 (J)}$$

		第7期見込額	説明
A	第1号被保険者負担分相当額	10,536,758,041	(標準給付費見込額+地域支援事業)×第1号被保険者負担割合(23%)
B	調整交付金相当額(※)	2,259,735,440	(標準給付費見込額+介護予防・日常生活支援総合事業費)×0.05
C	調整交付金見込額	2,742,097,000	第7期計画期間各年度における標準給付費見込額および所得段階別加入割合補正係数と後期高齢者加入割合補正係数により算出した金額の合計
D	財政安定化基金拠出金見込額	0	市町村の介護保険財政の安定を図るために県が設置する基金への拠出金
E	財政安定化基金償還金	0	基金を借入している場合の償還金
F	準備基金取崩額	200,000,000	
G	審査支払手数料差引額	0	国が定めた手数料の上限を超える額 (上限1件95円)
H	市町村特別給付費等	0	
I	市町村相互財政安定化事業負担額	0	
J	市町村相互財政安定化事業交付額	0	

注) 上記表は、千円単位で表示されていますが保険料計算では1円単位で算定するため合計額が合わない場合があります。

※ 調整交付金とは、所得が全国平均よりも低く、また、後期高齢者が多いことにより介護保険の財源が不足することがないように、国が各地方自治体の財源5%程度を交付金として拠出し、自治体間の格差を調整するものです。

3 保険料の算定

(1) 第1号被保険者保険料の基準額（月額）の算定

第1号被保険者（65歳の保険料は、計画期間3年間のサービス利用量を見込み、これに見合う保険料収入が得られるように設定します。

保険料収納必要額等をもとに第7期計画期間における第1号被保険者保険料基準額（月額）を算定すると次のとおりです。

$$\text{保険料基準月額} = \text{保険料収納必要額 (A)} \div \text{予定保険料収納率 (B)} \div \text{所得段階別加入割合補正後被保険者数 (C)} \div 12 \text{カ月}$$

		第7期	説明
A	保険料収納必要額	9,854,396,481	「2 標準給付費見込額と保険料収納必要額」で算定した金額
B	予定保険料収納率	97.7%	第7期計画期間の保険料収納率
C	所得段階別加入割合補正後被保険者数	129,709	国の定める標準段階区分ごとの割合による補正
第1号被保険者保険料額（月額）		6,480	$A \div B \div C \div 12$

(2) 第7期計画期間における第1号被保険者の所得段階別保険料

米子市の第1号被保険者に係る第7期計画期間の介護保険料は、所得等に応じ、15段階とし、基準額は、6,480円（年額77,800円）となります。

単位（円）				
所得段階	対象となる方	保険料の負担割合	第7期 保険料年額	(参考) 第6期 保険料年額
第1段階	●生活保護受給者の方 ●老齢福祉年金受給者で世帯全員が住民税非課税の方	基準額×0.4	31,100	29,900
第2段階	世帯全員が住民税非課税で、前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方	基準額×0.4	31,100	29,900
第3段階	世帯全員が住民税非課税で、前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が120万円以下の方	基準額×0.6	46,700	44,800
第4段階	世帯全員が住民税非課税で、前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が120万円超の方	基準額×0.7	54,500	52,300
第5段階	世帯の誰かに住民税が課税されているが本人は住民税非課税で、前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方	基準額×0.83	64,600	62,000
第6段階	世帯の誰かに住民税が課税されているが本人は住民税非課税で、前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円を超える方	基準額	77,800	74,600
第7段階	本人が、住民税課税で、前年の合計所得金額が80万円未満の方	基準額×1.15	89,500	85,800
第8段階	本人が、住民税課税で、前年の合計所得金額が80万円以上120万円未満の方	基準額×1.3	101,100	97,000
第9段階	本人が、住民税課税で、前年の合計所得金額が120万円以上190万円未満の方	基準額×1.45	112,800	108,200
第10段階	本人が、住民税課税で、前年の合計所得金額が190万円以上280万円未満の方	基準額×1.6	124,500	119,400
第11段階	本人が、住民税課税で、前年の合計所得金額が280万円以上350万円未満の方	基準額×1.8	140,000	134,300
第12段階	本人が、住民税課税で、前年の合計所得金額が350万円以上500万円未満の方	基準額×2.0	155,600	149,200
第13段階	本人が、住民税課税で、前年の合計所得金額が500万円以上650万円未満の方	基準額×2.2	171,200	164,100
第14段階	本人が、住民税課税で、前年の合計所得金額が650万円以上800万円未満の方	基準額×2.4	186,700	179,000
第15段階	本人が、住民税課税で、前年の合計所得金額が800万円以上の方	基準額×2.6	202,300	194,000

(3) 第2号被保険者保険料について

第2号被保険者（40歳～64歳）の保険料については、医療保険者が医療保険料と一括して徴収し、社会保険診療報酬支払基金に納付します。集められた全国の納付金は、同基金から各市町村に介護給付費の27%相当額が交付されます。

介護保険料納付のしくみ

